

■ いっぱいなでなで～保育ボランティアの 先輩に甘え放題♪

☆声優さんへのお願ひ

//一人称→私、二人称→きみ、ぼく
(子ども相手、子ども扱いするとき)
台本中の▼はハートマークです。

キャラクター

//子供でも聞き取れるような少し
間延びした話しかをお願いします。

//全体的におつとりした感じで、

お姉さんらしく

//主人公が話しているだろう部分など、
//ただ間を置くのではなく、

「うん……ん、そつか……うん……」

など

//優しく話を聞いている反応を大切に
していただけるとありがたいです。

//全体的に甘やかし、

おつとりの感じです。

//台本はベースなので、

少し言いやすいように

アレンジしてもらって構いません。

//おつとりした先輩なので

単語なども「全部」→「ぜーんぶ」など

//単語の一部伸ばしたりなども自由に
していただけとあります。

☆行為について

//反動でセックスなどは積極的に
お願いします。

//喘ぎなどは比較的自由な感じで
大丈夫です。

//喘ぎは「はあ」の息とか

ちよつと長めに

//ああああなどは気持ちよすぎて長めに
声出ちやう感じでお願いします。

//「あ」なども「あ」つ切りよりは
少し長めのイメージです。

位置指定のルール

一度つけた位置は以降の「」で同じです。
ただし、便宜のため、
台本ページが変わると
改めてつけています。

★はSEです。

//スタッフ

企画・シナリオ：御厨みくり
声： 柚木つばめ
イラスト： しゅは
ロゴデザイン： ヲリ
音声編集： Tonerico
台本化・ディレクション：

C P P・中島駿平

■ ト ラ ッ ク 〇 「保育サークルの紹介」

★扉の音

//正面遠くで話します

「こんなにちはあ。もしかして、保育サークルの見学に来てくれたの？」

//正面近くに移動しながら話します

「わあ、嬉しい。私、会長の香月小花（こうづき・こはな）と言います」

「部活を探しているの？」

男の子が見学に来てくれるのって初めてだから、なんだか私まで

緊張しちゃう」

「うん……、うん、

そううだね、保育サークルと言われても、ピンと来ないよね」

「保育サークルでは

七森学園に併設されている幼稚園と一緒に遊ぶボランティアをしてるの」

「幼稚園は大体2時頃に終わって

しまうんだけど、お仕事をしているお父さんお母さんのために、

夕方まで預かり保育をしていて」

「その時間の一部に保育ボランティアとして、

幼稚園の子どもたちと一緒に遊んであげるんだよ」

「活動内容は毎日違つて、本を読んだり、
外で遊んだり……」

「右側近くに移動しながら話します
「もちろん、ボランティアだから
毎日来る必要はないの。」

好きな時に参加できるから、
良かつたら気軽に参加してみてね」

「あとは、サークルと部活動の違いについて
説明しなきや」

「右側から左側近くに移動しながら話します

「右から中央
「七森学園では、部活動は原則、
掛け持ち禁止になつてるの。
でも、サークルは部活動じやないから、
掛け持ちも大丈夫」

「中央から左

「所属している子たちも、
部活に所属して来てくれる子が
多いかなあ。
部活のない日とか、
運動部のオフシーズンとか……」

「左側近く、男性の方を向いて話します
「だからきみも、
気負わずに来てくれたら嬉しいな」

「……え？ 保育サークルのみの参加？」

私は実際そうだし、部活動かサークル、どちらかに参加すれば大丈夫だけ……」

「まずはいろんなところを見学してみてね。うちに来てくれたなら嬉しいけど、

きみが大切な学園生活を

楽しく過ごしてくれるのが一番だから」

//正面近くに移動しながら話します

「……そなんだ、子どもが好きで

一緒に遊べるようになりたいんだね」

「子どもは素直だから、ちゃんと話を聞いてしっかり向き合えば

心を開いてくれる子が多いけど、やつぱり個人差があるの」

「人懐っこい子もいるし、

人見知りの激しい

恥ずかしがり屋さんもいるし……」

「そんなに、難しく考えなくていいんだよ。

そうだ、良かつたら

今から幼稚園に見学に行つてみる？」

「七森学園がずっと女子校だったから、お兄ちゃんが来てくれたなら、

みんな喜ぶと思うから」

「それにも……

やっぱり年頃の男の子って

女の子とは全然違うのね」

「幼稚園だけは共学だし

ボランティアにも行っていたから
わかるけど……

あとは男の子と関わるのって

久しぶりだから……」

//正面間近に移動しながら小声で話します

「声も低いし……

こんなふうに成長するんだねえ……」

「背も高いし、身体もがっしりして……」

//右耳元に移動しながら小声で話します

「わあ……骨も太いんだね……」

「子どもたち、みんな元気だから、
この腕なら抱っこ抱っこつて
せがまれても遊んであげられそう……」

//離れる・正面近くに移動しながら話します

「……あ。ごめんなさい。

見世物みたいに……」

「まだ私も、

男性との接し方がよくわからなくて」

「……普通でいい？」

「そつか、確かにそうだよね。

同じ人間だもん。

男の子も女の子も、年齢も関係ないよね」

「じゃあ……あんまり難しく考えずに
普通にさせてもらうね」

「もう帰る？ そつか、見学の途中だもんね」

「……だけど……」「

//正面間近で話します

//甘える感じで

「ん……」

「離したく……ないなあ……」
//右耳元で小声で話します

「きみと……離れたく、なくなっちゃった」

「掛け持ちでもいいから……
時々でも、いいから……」

「よかつたら、保育サークル……
考えてみてね？」

■ トラック1 「保育サークルへようこそ」

「正面近くで話します

「入会してくれてありがとうございます。

改めまして、私が保育サークル会長の
香月小花（こうづきこはな）です」

「よかつたあ……見学に来ててくれた時から、
きみが来てくれるんじやないかって、
ずっと待ってたんだよ」

「それにしても、まさか保育サークルに
男の子が来てくれるなんて。
共学になつたばかりで
まだ男の子が少ないから、
うちに来てくれる子はいないかなって
思つてたの」

「……子どもが好きなんだ?

それならうちのサークルはぴったりだね」

「うん、せつかくだから楽しみたいよね。
幼稚園の子どもたちもきっと、
すごく喜んでくれると思うよ」

「それじゃあ、前も説明したけど、

保育サークルの活動について説明するね」

「右側近くに移動しながら話します
「七森学園では幼稚園も併設しているの」

「右側近くに移動しながら

「幼稚園は大体2時頃に終わって
しまうんだけど、お仕事をしている
お父さんお母さんのために、
夕方まで預かり保育をしていて」

「その時間の一部に保育ボランティアとして、

幼稚園の子どもたちと
一緒に遊んであげるんだよ」

「右側近くから左側に移動しながら話します

「活動内容は毎日違つて、
本を読んだり、外で遊んだり……」

「左側に移動しながら

「子どもたちと楽しく遊べたら、
あとは自由だよ」

「左側近くで話します

「……他の会員?
今日は来ていないかなあ……」

「正面近くに卯移動しながら話します

「私は保育サークルにしか
入っていないけれど、

他のみんなは掛け持ちが多いの」

//正面近くで話します

「部活が文化部で、

活動が週に1回しかないと、

運動部だけど冬場のオフシーズンに週に何回か来てくれるとか」

「保育サークルも会員自体は多いけど、

参加率は高くないの。

ボランティアだから強制力もないし……」

「私は毎日来ているけれど、

あとは日によるかな。

私一人の日も結構多いよ」

「だから、

きみも他に興味がある部活があつたら、
入ってみてね」

「毎日来なきやと氣負わずに、
来れるときに来てくれるだけでも
嬉しいな。

遊びに行つた日は
子どもたちもみんな喜んでくれるし、
子どもの笑顔は癒しだから」

「……え？ 每日来る？

確かに私はそうしてるけど……」

「無理しなくていいんだよ。

きみのペースで来てもらえたから」

「……うん、子どもが好きで、

保育の仕事をもっと学びたいの？」

「私も、将来は保育士さんになりたいの。
同じだね」

「なでなで……▼」

★なでなでする音

//正面間近で小声で話します

「まだ入学したばかりなのに、

将来のことを考えて、偉いね。

なでなで……▼」

//正面間近小声で話します

「じゃあ、無理はしないで遊びに来てね。

保育のことが知りたかったら、

私も少しなら

教えてあげることができるから」「

「それじゃあ、説明するよりも、

実際に今日のボランティアに

行つてみようか」

「あ、幼稚園では私のこと、
「先生」って呼んでね？」

「こはなせんせーって……言つてみて？」

「…………

もう、声が小さいよ。
恥ずかしがらないで？」

「うんうん、よくできましたあ。

きみも、幼稚園では先生つ
呼ばれるんだからね？」

★SE 荷物を持つ。段ボールなど

//右側を向いてしゃがむ
「よいしょ……つと……」

//正面を向きながら立ち上がります
「あ……荷物は私が持つから大丈夫だよ。
(立ち上がる)

今日入つてくれたばかりの
新人さんに荷物を持たせるわけには……」

「もう、ここは私に任せて。ね?」

//正面間近に移動しながら話します
「……ひや、だめ、だめだよ。
そんなに、重くないから……」

「男の子だからなんて、関係ないよ。
私が先輩なんだから」

「だめ……だーめっ……」

「きやつ……！」

★SE 転倒、転びなど、がらがらおもちゃ
やが落ちる

//正面近くに移動しながら話します
「ふ、ごめんね……！」

私が意地を張つてしまつたから……」

「痛くない？」

でも、ここ……赤くなつてゐるよ」

//正面近くで話します

「本当は、痛いよね？」

我慢しなくて、いいんだからね？」

★なでなでする音

//正面間近で小声で話します

「なでなで……なでなで……。

「ごめんね、痛かつたねえ……」

//小声で

「じゃあ……

いたいいたいの……とんでけー……♪」

//普通に戻して

「どう？ 痛いの……飛んで行つたかな？」

//正面間近普通に

「まだ？ じゃあ……

もうちょっとやつてあげるね」

//一つずつ丁寧に、小声で可愛くお願ひ

します

「いたいいたいの……とんでけー。」

「いたいいたいの……とんでけー。」

「いたいいたいの、とんでけー」

//普通に戻して

「どうしたの？ なんだか、

ほっぺが赤くなってるような……？」

//離れる・正面近くで移動しながら話し

ます

「わっ……ごめんなさい。

確かに距離が近いって、よく言われるの」

「正面近くで話します

「私、毎日幼稚園の子どもたちと

接してるので……

ついみんなのことを

子ども扱いしてしまって」

「恥ずかしそうに

「ずっと女子校だったから、笑われるだけだったけど、そうだよね、男の子だもんね……」

「……嬉しかった？」

ふふ、確かに、私もこんな大きな男の子にいたいいたいのとんでもけしたの、初めて」

「正面近くで話します

「痛いの、なくなつた？ よかつたあ」

「正面間近に移動しながら話します

「それじやあ、今度こそ荷物は私が……。あ、ひやあん、ダメだつてばあ」

「もう、どうしても持ちたいの？」

「じゃあ、お願ひしちやおうかな」

「ふふ、力持ちで優しいね。

男の子だねえ。ありがとう」

//左耳元に移動しながら小声で囁きます

「あのね、きみが来てくれるて……
すごく、嬉しいよ」

「毎日来てくれるって言うのも
すごく心強いの。

いつも一人でやつてたから、
きみが来てくれるなら……」

「私も、明日からの部活が
楽しみになっちゃう」

「これから……よろしくね」

■ トラック2 先輩の保育レッスン♪

★SE 扉を閉める音

//廊下にて

//歩きながら

//右側近くで話します

「ふふ、今日もお疲れ様でした」

「きみが来てくれるようになつてから

何日か経つたけど……

みんな受け入れてくれてよかつたね」

「先生、先生つて……」

取り合いみたいになつてたもんね」

「サークル室で少し休憩しようか。

お茶もお菓子もあるよ」

「はい、その前にしつかり、うがい手洗い。
忘れずにちゃんとしましょうね」

★SE 水道の音

//フェードアウト

//少し時間経過

//場面転換、教室

//やや右側近くで話します

「はい、お茶どうぞ」

★S E お茶を飲む音など

「正面近くに移動しながら話します
「毎日来てくれてすごく嬉しいけれど、
本当に疲れてない？」

「子どもってみんなすごく可愛いけど、
パワフルでちょっと疲れちゃうよね」

「ん……そつか。

樂しいって思ってくれてるなら、
すごく嬉しいな」

「大変だつたら、無理しなくていいからね」

「あと、少しでも体調が悪かつたりしたら
ちゃんと休んでね。」

体調管理も大事だから」

「私はきみに会えるのすごく嬉しいから……
ボランティアの活動、
楽しんでくれているなら嬉しいな」

「……相談？」

「ええ、私でよければ聞かせて？」

//正面近くで話します

「……ん、うん、……」

まことくんのことね。

私も確かに気になつてたの……」

「きみの気を引こうとして、悪戯したり、
わざと怒つて拗ねてみたり……。
普段はそんなことないんだけど……」

「……ううん……、違うの。

嫌つてるんじゃないんだよ?

保育では『試し行動』と
呼ばれるものなの」

「新しく来た先生とか……

わざと悪戯して、

相手の態度を見ているのね」

「そうして、その人が

信用できるかどうか確かめるの」

「何年もやつてるベテランの保育士さんでも
最初は手を焼いちやう」

「……そうだよね。仕方ないことだとしても、
きみが辛いよね」

★なでなでする音

//正面間近で小声で話します

「……よしよし、悲しいね、

傷付いちやつたね」

//正面間近で小声で話します

「自信なくしちやつた？」

試し行動はその子のペースで

待つてあげるしかないんだけど……」

「大丈夫だよ、こんなふうにちゃんと悩んで、
きみは優しい先生だよ」

「試し行動で肝心なのは、

ちゃんと話を聞いてあげることなの」

「悪いことをして怒っちゃうのも、
自分がそうしたいわけじゃないから
よくないし、
怒らないのも、自分に関心が
ないんだって感じちゃうから」

//少し離れて正面近くで話します

「じゃあ……私がきみに対して
やつてみようかな。いい？」

「きみは試し行動で、物に当たつてしまつて、
私がそれに気付くね」

//子ども相手の感じで

「どうしたのー？ 先生、
びっくりしちやつた」

「ちゃんとしやがんで、

目線を合わせてあげるのも大事だよ」

「怪我しなかつた？ どこも痛くない？」

「きみに怪我が無くてよかつた」

★そっと抱きしめる布音

//左側耳元に移動しながら小声で話します

す

「こんなふうにね、

まずは身体の心配をしてあげること

「その子が大事なんだってこと、

伝えてあげること」

「それから、ちゃんと話を聞いてあげる」

//←ここから子供に語り掛けるようにな
「どうして物に当たつちゃったの？」

「……んー……、自分でわからなか

「……うん……」

わかんないけど、

そうしたくなつちやつたんだね」

「うん……、そういうときつてあるよね」

「……ん……やつてみて、楽しかった?

そうじやなかつたね」

「もしかしたら、お手手いたいいたいって、
きみが怪我してたかもしれないもんね」

「うん、そうだね……もし近くに誰かいたら、
その子が怪我してたかもしれないもんね」

「先生はきみのこととも

みんなのこととも大事だから、

怪我したら悲しいなあ」

//→ここまで子供に語り掛けるよう

★離れる布音

//正面近くへ移動しながら話します
「……と、こんなふうに、叱るんじやなくて
ちゃんと話をしたら、どうかな」

「こんなふうに言われたら、
ちよっとお話聞いてくれそうだよね？」

「大人でも……こんなふうに言われたら、
心に響くよね」

「保育つて、そういう大事なことも
教えてくれるんじやないかなって
思うんだあ」

「その子によつて、それぞれだし、
簡単にはいかないから難しいけど……」

「でも私は、こうしてあげたら
自分も納得できるかなつていうの、
見つけてるつもりなの」

「きみも……」んなふうに言つてもらえたら、
理解できると思う？」

「そうだよね、心配してる気持ち、
大事に思つてる気持ち、
伝わつてほしいよね」

「ふふ、きみの表情もすごく良くなつたね。
よかつた」

「ふふ、……うん、

明日、ちゃんと伝えてみる?
うん。ちゃんと届くといいね」

「難しかつたらまた私に相談してね。
一緒に考えていこうね」

「少し間を置きながら、ゆっくり
「……あのね?」

「私も……きみのこと、すごく大事だよ?」

「だからね、悩んでいたら
助けてあげたくなるし、
いつでも笑顔で居てほしいよ?」

「だから、辛かつたら
いつでも私に甘えていいからね」

「うん……きみのありがとうを聞けたら、
私、いくらでも頑張れちゃうよ……」

「ちゃんと感謝できる子、偉い偉いです」

「ふふ……よしよし。私のほうこそ、
大変だけど、
いつも来てくれてありがとうございます」

「きみに会えると、私も元気になっちゃう」

★なでなでする布音

//正面間近に移動しながら小声で話します

「きみは、一人じゃないからね。
……なでなで……」

//フェードアウト

//日数経過・間

//右側近くで話します

//歩きながら

「ふふ、まことくん、
すっかりきみに懐いたみたいだね」

「この間まであんなに悪戯してたのが
嘘みたい」

「きみの言葉が、ちゃんと届いたんだねえ」

「よしよし……頑張ったね……▼」

「私はちょっとお話を聞いてあげただけ。
がんばったのはきみ自身だよ」

「ふふ、立派な先生に近付いてるね」

「これからも、

よろしくお願ひしますね、先生」

■ トラック3 「失敗しちやつた

「きみはすつごく頑張ってるよ」

★SE 扉が開く音

//正面遠くで話します

「もう、そんな顔してどうしたの？」

★SE 扉が閉まる音、歩く音

//正面近くに移動しながら話します

「大きな溜息ついて……

悲しいことがあつたんだね」

「ん……うん……

そつか、……

今日はうまくできなかつたんだ?

失敗しちやつたんだね」

「私もすぐフォローできなくてごめんね」

「向いてないなんて……そんなことないよ」

//正面近く小声で話します

「辛くなつちやつたねえ。どうしてほしい?
ぎゅーつてする?」

「お膝にごろんつてして、
なでなでしてほしいの?」

「いいよ。

……おいで? グローリンつてして?」

//膝枕・マイクの位置を下げます

★SE ソファーに寝転ぶような音

★なでなでする音

//正面マイク上方から話します

「なでなで……なでなで……」

「苦しかったね……よしよし……」

今は何も考えなくていいからね……」

「きみが悲しい顔してると、

私も悲しくなつちやう」

「……急いで話さなくていいから、

話したくなつたらでいいんだよ」

//ちよつとの間、なでなで

●なでなで中

「……そつかあ。

みんなにいっぱい甘えてもらえて、
頼られるようになつたのは嬉しいけど、

あれもこれも言われて、

余裕なくなつちやつたんだね」

「あれやろうよ、

これやつて、こつちに来てくつて、
きみは一人しかいないのに、

大変だつたね、困つちやつたね」

「うん……それで、『ちよつと待つて』つて、

強く言つちやつたんだ。

みんなびっくりした顔してたんだね」

//マイク上方から話します

「……うん……、

でも、すぐ謝ったんだね、偉いね。

大丈夫、みんなわかつてくれたと思うよ」

「ううん、きみが悪いんじゃないよ。

誰だつて自分の思い通りに行かなくて

困っちゃうことつてあるよね」

「私だつてそういうこと、あるよ?」

「嘘じやないよお。

私だつて、余裕なくなつちやつたり、
辛くなつたり反省することあるよ」

「子どもつて無邪氣で可愛いけど、
慣れれば慣れるほど、

甘えが出ちやつて

我儘を言つたりもしちやうし」

「でもね、きみが失敗しちやつたつて

思うのは、

きみがすごく頑張つてるからだよ」

「毎日頑張つてるから、失敗しちやつたの、
悲しかつたね、苦しかつたね」

「……うん、うん……」

「みーんな、毎日きみに会えるの
楽しみにしてくれてるよ」

「ね、嬉しいね。頑張つてくれてありがとう」

//マイク上方から話します

「私はきみがすごく頑張ってるの、
わかつてるからね」

「頑張ってるから辛いんだよね、
後悔したり、反省したりするんだよね」

「いつも、ありがとう」

「なでなで、なでなでだよ」

//静かに髪をなでなで、間、呼吸

●なでなで中

「きみの髪って、柔らかいねえ。

ずっとと触っていたくなるよ……」

「少し落ち着いたかな……？」

「抱きしめてほしいの？」

「いいよ、こっちに来て」

★SE 体勢を変える布音

//ここからマイクをもとの高さに戻します

★抱きしめる布音

//正面間近から右耳元に移動しながら
小声で話します

「ぎゅーーー……」

//右耳元小声で話します

「私にはいつでも甘えていいんだよ。

誰だって、辛くなつたり

悲しくなることはあるんだから」

「黙つて抱きしめてほしい時だつて、
あるよね」

★なでなでする音

「よしよし、なでなで……、

今日はちょっとだけ失敗しちやつたね」

「うんうん……うん、

私の前では、いっぱい甘えんばさん、
していいからね……？」

★なでなでする音

「ひやつ、もう、よしよし、

よしよしだよお……」

「大丈夫、明日はうまく行くよ。

明日は私もちやんと助けるから」

「みんなきみのこと大好きだよ。

みんな明日は笑顔で

『ここにちは』つてしてくれるから」

「よしよし。いっぱい私のこと、
ぎゅーつてしていいからね？」

●ぎゅつてしている間の右耳元呼吸音

10秒程度

//右耳元小声で話します

「温かい？ ほつとする？

それならよかつたあ……ぎゅー……」

「幼稚園のみんなの前では

頼れる先生だから……

私の前ではいーっぱい、

甘えんぼさんしていいからね……？」

「ふふ……なんだか、可愛い……▼」

「きみの頑張り、

ちやーんと……私が……

見てるからね……？」

「……うん、うん……よしよし……」

「……ちよつと元気になりましたかー？」

「うん、表情、よくなつたねえ。可愛い」

「明日から、また頑張れる？

辛くなつたら、

また私に甘えていいからね」

「ふふ……もう……▼」

「甘えんぼさんなんだから……▼」

■ トラック4 「先輩のお膝の上で癒し耳かき」

★SE 扉の音

//正面遠くから間近へ移動しながら話します

「お疲れ様……つて……きやつ……」

★抱きつく布音

//左耳元小声で話します

「もう……」

最近は幼稚園から戻つてくると
いつもこうなんだから……▼

★なでなでする布音

「うんうん……、

今日も、いっぱい頑張ったね、なでなで

「なんだか大きな園児さんみたい……▼」

「いいの？

いやあ……二人きりの時は、
私がきみの先生になつて、
甘えさせてあげるね

「きみも、ちゃんと私のこと、
先生つて呼ぶんだよ？」

//左耳元無声で囁きます

「ちゃんと……」

先生、ねんねして、なでなでしてつて、
言つて……？」

//左耳元小声で話します

「ふふー、よくできました……▼

じゃあ……先生のお膝においで？

なでなでしてあげるから……▼」

★ソファーに座るような音

//ここから、マイクの位置を下げます

//右耳元上方から話します

「先生のお膝、あつたかい？

眠くなつちやうかな？」

「幼稚園ではしつかり者なのに、

ここではこんなに

甘えんぼさんなんて……」

「みんなには、絶対内緒だね……▼」

●右耳元上方吐息の間

「きみの……お耳……」

★ふにふに耳を触る音

「ふふ……耳たぶ……やわらかあい……▼」

「くすぐつたいの？ 可愛いなあ」

「今日も……いーっぱい頑張ったね……▼

お疲れ様でした……▼」

「今日も立派ないいお兄ちゃんだったよ……。
すく良くなってきたね」

//右耳元上方から話します

「ん……」

★ふにふに耳を触る音

「んー……」

「……あら……？ 甘えんぼきん、
あら、あらあ……」

「ちゃんと、お耳掃除、しますかー……？」

「お耳に……いーっぱい、
汚いの詰まってるよお……？」

「もう……逃げないで？

恥ずかしながらいいんだよ」

「先生が、きみのお耳、『こしご』しつてして、
綺麗にしてあげるね……▼」

★かちやかちや 近くにある棚から綿棒
？耳かきを取る？

//右耳から

「それじやあ……失礼しまーす」

★ 耳掃除の音・右・ループ

//あといい具合に入れてください……

●耳掃除の音の間、吐息ループ（右）

「ふふ、硬くならないで、リラックスしてて」

「大丈夫……痛くないようにするからね」

//右耳元上方から話します

「…………、わあ、すごい。」

こんなに詰まつてたら、私の声、
聞こえ辛かつたんじやない…………？」

「そんなことないの？」

でも……綺麗になつたら、私の声、
もつと聞こえるようになるかな…………？」

★耳掃除の音・右・ループ
●耳掃除の音の間、吐息ループ（右）

「…………わあ…………奥に…………」

大きいのあつたよ…………？」

「取つてあげるから…………動かないでね…………？」

★耳掃除の音・右・ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（右）

「…………んー…………？幼稚園の子の

耳掃除はしたことあるけど…………」

「こ……んなに大きい子の耳掃除は、
初めてだよ…………？」

「でも…………」

「お耳も、お耳の穴も大きいから……
奥まで、ちやあんと、見えるねえ…………」

「…………ひやつ…………」

丶右耳元上方から話します

「もう……動いちやだめでしょ？」

大きいの、落ちちやつた」

「くすぐつたかつたの？」

ビクつてなつちやつた?」

「ふふ……わかつたけどお……我慢して？」

一動いたら、危ないよ？

「動いても、声出しても、だーめ……
もうちょっと……我慢してね……」

★耳掃除の音・右・ループ

耳掃除の音の間 吐息ハリノ(右)

「…………はい…………もうちよつとだからね…………？」

★耳掃除少し

●耳掃除の音の間、
吐息ルリフ（右）

「はい……」んなに大きいの、取れたよ?」

「最後に……」

丶右耳吹きかけ・長めに

」

「まだ、おしまいじゃないよ？」

「こっち向いて?」

//右耳元上方から話します

「はい、次はこっちのお耳も
きれいきれいしようね」

「だーめ。右耳がこんなに汚れてるのに……
左耳だけ掃除してること、ないでしょ?」

「大丈夫……優しく……」

すぐ綺麗にしてあげるから……▼」

★左耳になるように態勢変え

//左耳元上方から話します

「……ほーら、すつぐく汚れてる……」

「こ」のちのお耳も……

綺麗にするから、動かないでね……?」

★耳掃除・左ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（左）

「こ」のちも……奥に、大きいのあるね……」

「動いちや、だーめ……▼

くすぐったいの、わかるけど……
我慢、だよ……?」

★耳掃除・左ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（左）

//軽く息吹きかけ

「ふつ……ふーーー」

丶左耳元上方から話します

「ふふっ、ビクつてなったあ……

「めん」「めん」

「よし、これで見えるようになつた……」

★耳掃除・左ループ

●耳掃除の音の間 吐息ルリア
(左)

「……ん、もうちよつと、だからねー……」

「ほら……どんどん、

絶麗になってしまったよ……】

★耳掃除・左ループ

●耳掃除の音の間 吐息ルリア
(左)

「……よし、取れた……。最後に……」

〔五——————————————〕

「よしよし、いーっぱい取れました▼

ほら、見て？

こんなに溜まつてたんだよ……？

左耳元近付き・小声

「先生の声、

少し聞こえやすくなりましたか?』

左耳元近付き・小声

「これからは、ちやーんと、

紹ゆに自分でお掃除した。さあ

ダメだよ?」

//左耳元上方から話します

「んー……うん、 そうだねえ、

確かに、耳つて自分では見えないから、

難しいよね」

「そうだね、無理にやりすぎると

中耳炎になつたり、しちやうもんねえ」

//左耳元近づき無声で囁きます

「じゃあ……また、先生が……してあげよつ
か……？」

//無声で

「時々……こうやって、
なでなでしながら……お
耳のお掃除、してほしい……？」

//左耳元上方から話します

「そつかあ……

もう、しようがないなあ。
……特別、だからね？」

■ トラック5 「ご」褒美にお胸で癒して

あげる♪」

//正面近くで話します

「今日もボランティアお疲れ様でした。

はい♪ いで？

ぎゅーっとしてあげる」「

★抱きしめる布音

//左耳元で小声で話します

「なでなで……今日も、頑張ったね……」

「うん……うん……。そつかあ……」

今日は授業で小テストもあつたんだね』

「へえ、すごおい、点数、良かつたんだねえ」

「サークル活動もこんなに頑張ってるのに、
お勉強もちやーんとしてるんだね？」

★なでなでする布音

「偉いねえ……なでなで……▼」

「なあに？ 頑張ったご褒美が欲しいの？」

「じゃーあ……」

先生に、何してほしいか……教えて？」

★胸を触られる布音

//胸を触られる・びっくり

「……ひや……っ！」

//正面間近で小声話します

「……だめ。それは、できません」

//正面間近で小声話します

「もう……頑張つたご褒美に、

先生のお胸、触らせてほしいの？」

「……だめ。それは、できません」

「……どうしても、だめ……」

「……もう……、

そんな可愛い目をしても、だめ。
悲しい顔しても、だめ」

「……だって、それは……

えつちなことで……

えつちなことは、先輩と後輩の間では、
だめなんだよ……？」

「ちゃんと……恋人同士じや、ないと」

「……もちろん、ちゃんと恋人同士だつたら、
いいけど……」

「……私は、ずっと……

待つてるんだけどなあ」

「今まで、頑張つてるきみを

甘えさせてあげるって言つたけど……」

「……特別な気持ちがなかつたら、
こんなこと、しないんだよ？」

「きみは……どうなの？」

右耳元に移動して無声で囁きます

「……ちやんと……言つて？」

「……うん……うん……」

私のこと、好きなんだあ……」

「もう……私なしじや
生きられないくらい……」

私に、メロメロになつちやつたんだあ……▼

「顔、真っ赤にしちやつて……可愛い」

「恥ずかしいのに、

頑張って告白してくれて、ありがとうございます」

「頑張ったね……、きみの気持ち、
すつごく嬉しいよ」

「……いいんだよ。

私もいーっぱい……

きみのこと甘やかしてあげる」

「これからも、ずっと……。

ちゃんと頑張ってるきみを、

二人つきりの時は、

いっぱいなでなでして、

甘やかしてあげるね……▼

「私も……頑張り屋さんで優しくて
まつすぐなきみのこと、……
だいすき……▼」

//正面間近に移動しながら小声で話します

す

「じゃあ……」

これからはサークルの
先輩後輩ではあるけど、
恋人同士……だね？」

//正面近くに移動しながら話します

「恋人同士だつたら……」

「ご褒美……いいよ……？」

★ 脱ぎかめくり

「……はい、おっぱい、どうぞ……♪」

「……今までずーっと……」

触りたくて我慢してたの？」

「もう……言つてくれたらよかつたのに」

//正面間近で小声で話します

//胸触り

「……んんっ……▼」

「私のお胸……大きいの？」

自分ではわからなかつたけど、
そうなんだあ」

「大きいと……きみは喜んでくれる？」

「ふふ、きみが喜んでくれるなら、嬉しいな」

「……あ……ん、んんっ……」

//正面間近で小声で話します

「ん……？ 恋人同士だけど、

二人きりの時は、先生って呼びたいの？」

//正面間近で無声で囁きます

「もう……」「

//左耳元で無声で囁き

「変態さんなんだから……」「

「特別だよ……？」

先生のおっぱい、

もつと、きみの手で

ぎゅつぎゅつてして……？」「

「あ……はあ……ん、んう……んんつ……」「

「はあ……あ……なでなで……んつ……。」

「んんつ、ふ……あ……」「

「お勉強も……あ、んんつ……」

ボランティアの活動も……

なーんでもいっぱい

頑張ってるきみに……

はあ……♪(褒美)だよお「

「(褒美)褒美……嬉しいですかー……？」

あ、あつ……はあ……▼

「嬉しい……？ よかつたあ」

//正面で間近で小声で話します

「はあ……こんなふうに、

おっぱい触られるなんて、初めて……▼

はあ、あ……んんつ……」

「あ、あつ……ん……

そんなに、こねまわして……

あつ……はあ……。

そんなに……触りたかったんだあ……」

「きみの目、すごく嬉しそうで……

子どもみたい。可愛い……」

「こんな可愛いきみを見せていいの……
私の前だけだよ……？」

//吐息多め

「……あ……あつ……んんつ……
はあ……、あ……あつ……、はあ……」

「おっぱい、そんなにふにふにして、
はあ……あ……▼

私も気持ちよくなつてきちゃつたあ……」

「んんつ……ふ……あ……あつ……

きみの手で……先生……

気持ちよくなつてるんだよ……

ありがとう……▼」

「ん……？ もじもじして、どうしたの？」

「先生のお胸、

いーっぱいぺろぺろつてしたいの？」

//正面で間近で小声で話します

「……赤ちゃんみたいに……、

ちゅぱちゅぱあつてして、

いっぱいいーっぱい、

甘えたいんだあ……▼」

//正面で間近で小声で話します

//胸しやぶり

「んつ……んんつ……はあ……▼」

「ちゅぱちゅぱ必死に吸つてて、

可愛いね……▼」

「ふあ……は、ああ……んんつ……はあ……」

★なでなでする音

「……なでなで……舐めるの、

上手、上手だよ……

んつ、ふ、あん……んんつ……▼」

「はあ……あつ……そんなに、

いーっぱいちゅぱちゅぱしてえ……んつ、

先生のおっぱい……

そんなに美味しいですかー……？」

「はあ……あつ……んふ、んんつ……

あ、ああつ、そんなに、強く、

吸つちや……あつ……

「はあ、あ……先生のおっぱい飲みたくて、

いっぱい、吸つちやつたねえ……。

あ、つふ、はあ……いいんだよお、

先生も、だーいすきなきみに

いっぱいいちゅうつしてほしいからあ」

//正面で間近で小声で話します

//段々感じてきたように

「ん、んんつ。あ、あつ……、

はあ、あつ、あ、ああつ▼」

● 喘ぎ・小

「はあ、あう、ん……先生……身体……熱くなつてきちゃつたあ……」

「そう……？」

えつちな先生もお……好き……？」

//無声で囁き

「先生も……

甘えん坊さんな優しいきみが、
大好きだよ……▼」

//無声で囁き

「はあ……好き、大好き……あ、あつ……」

「先生のおっぱい、きみの唾液で、
べとべとになつちやつたあ……▼
はあ、あつ……んん、う……、
んはあ……あつ……あつ……▼」

「んんつ、う……はあ……あつ……▼
本当のおっぱい……出てほしい？」

「んんつ……出てほしいんだね……▼
赤ちゃんみたいに、ず一つと、

はあ、先生のおっぱい、

ごくごくつて、飲んでたいんだあ……▼」

「んっ、はあ……いいんだよお……

先生の前だけではあ……

きみがしたいこと、我慢しないで……

全部、言つて……？」

//正面で間近で小声で話します
「先生も、したい」と言つていいの……？」

「じゃーあー……だーいすきなきみに……
いっぴい、いーっぴい愛してほしい……

▼

「先生、だつて、今までずーっと……
我慢してたんだから……」

「今まで毎日、だーいすきなきみが
ずっと隣にいてくれて……
ぎゅーつてしたり、
なでなでしたりして……」

//囁き・いたずらに

「きみが……

おちんちんおつきくしてたのも……
知つてるんだからね……？」

//囁き・いたずらに

「今も……

制服の上からでもわかるくらい……
おつきくなつちやつてるでしょ……？」

//正面で間近で小声で話します

//囁き・いたずらに

「先生のおっぱい、

赤ちゃんみたいに舐め回しながら……

こーんなに……

興奮して赤ちゃん

おつきくしてるんだあ……」

「我慢……できなく

なつてるんじやないのかな……？」

「ん、は、あっ……▼

そんなに激しく舐めて……

それだけで、満足、できるの……？」

「はあ……我慢したら……ダメだよ……？」

「んんっ、あ……あっ……▼

先生はあ……

ちやんとしたいこと言える子が、

好きだなあ……▼

「あ、んんっ……▼

うん……そう……それでいいの……？」

「わかった、先生が……

きみにおっぱいペロペロされて、

気持ちよくなつていっちゃうといふ、

見せてほしいんだね……？」

「赤ちゃん、こんなに我慢できないくらい

大きくなつてると……

私を気持ちよくすること

考へてくれるなんて……」

//正面で間近で小声で話します

「やつぱり……」

きみはすつゞく優しいね……▼

「おつぱいぺろぺろしながら……

いーつぱい触りながら……」

先生から、目を離しちゃだめだよ……?」

「先生が気持ちよくなつて、イッちやう顔、
ちやあんと、見ててね……?」

● 喘ぎ・小

「は、ああっ、ん、う、んんっ……▼

はあ、さつきまではやつぱり、
我慢、してたからあ……」

「あ、あ……」

おつぱいでイッちやつていいいんだつて、

思つたらあ……

はあ、あ、気持ちよすぎで……

んんっ、あ、あつ……▼

「ひや、あ、あつ……どうしよう……

知らない私、きちやう……」

あつ、あつ……」

「えつちな私、引き出されちゃう……

つ、あ、あつ、ああつ▼」

● 喘ぎ・中

「はあ、あつ。ああつ……」

正面で間近で小声で話します

一氣持ちよく……

んんっ、なつて、きちやつたあ……あっ、ああっ……！

「見て、見て、あ、あつ、先生の、はあつ、

見ててつ」

「あっ、んんんっ！　は、はあっ、あっ、あっ、ああっ……！」

「来ちやう……来ちやうう……

「あつ、ああつ、あつ……」
あああつ、～～～～～～～～！～！～！
//絶頂、少し音量抑えながら長めに

「…………はあ…………あ…………」

「はあ……おっぱいで……
イツちやつたあ……
▼
はあ……あ……

「おつぱいで気持ちよく

先生のところへ

「うん……うん……
▼ よかつたあ……

自分も限界なくらい

大きくなっちゃってるのに……

//正面で間近で小声で話します

「だ
あ
い
す
き
…
…
▼」

「じ
や
あ
…
…
…
▼」

今度はきみにしてあげないとね……
▼」

■トラック6 「お耳を舐めながら

レーベンしてあげる……♪」

正面で近くで小声で話します

一まずはあ
・・・

出してあげないと……

★制服のチャツクを開けて。ペニスだし

「わ……つ」

「わ、わああ……すゞ」おい……わあ……

めんね 先生……

「でも……すつゞく大きくて……
すつゞくかっこいいよ……▼」

「それで……（移動）こーんなに大きくなつちやつたおちんちん……どうしてほしい……？」

「先生の耳元で……」

先生だけに聞こえるように、

二
小声

おちんちんしきしきしながら
お耳を……。ふふふつて……

してほしいの……？」

//正面で近くに移動して小声で話します
「もちろんいいよ……？　じやあ……
ここに座つて……こっちに来て……？」「

★ソファーアなどに座る音

//右側近くで小声で話します
「じゃあ……おちんちん……
失礼します……よいしょ……」

「こりしき……これくらい……？
痛くないですかー……？」

「もうちょっと強く握つてもいいの……？
「う……？　こうかなあ……？」

「気持ちいいんだ……？」

……このまましきこするね……？」

//右耳元へ移動しながら小声で話します
「そして……」

//右耳舐め

「ちゅつ……ちゅう……
ちゅる、ちゅつ、ん、ちゅう……
ちゅ、ちゅぱあ……」

「お耳舐められるの……いいんだ……▼」

●右耳舐めループ

「ちゅつ……ちゅる……ふ……はあ……
すごい、気持ちいいお顔に
なってきたね……▼」

//右耳元で小声で話します

「おちんちんも、先生の手の中で……
ビクビクしてるよ……?」

「ちゅ……じゅる……ちゅつ……
ちゅぱあ……」

「うん……? こりち……」うつ……?
指……ここに添えてほしいんだ……。
……うかな?

「う……動かすの……?」

「うつすると……

もつと気持ちよくなっちゃうんだ……
いいよお……もつと、教えて……?」



● 右耳舐めループ

//右耳元で無声で囁きます

「ちゅ……はあ……可愛い……▼
だあいすき……?」

//無声で

「先生の……

唾液でべとべとになっちゃった耳に……
囁かれると……
びくつてしまちゃうの……?」

//無声で

「たまらないんだあ……？」

／＼右耳元小声で話します

「じゃあ……」

逆のお耳もべろべろしてあげるね」

★態勢を変える布音

／＼左耳元に移動しながら話します

「いっつちの耳も……（移動）

いっぱいべろべろしてあげるね……▼

「ちゅつ……ちゅぱあ……」

ちゅつ、ちゅる……ちゅつ……」

● 左耳舐めループ

「ちゅつ……はあ……」

おちんちん……

どんどん大きくなってるね……▼

「ちゅ、ちゅる……ふ……はあ……ふう……

もう少し、早くしてほしいの……？

「うかな……？」

「気持ちいいの……？」

気持ちいいって、言つて……？」

「出ちやいそうになつた時も、
ちゃんと教えてね……？」

● 左耳舐めループ

「おちんちんしここつてしてる

先生の指……」

ちやんと、感じてね……？」

／＼左耳元で話します

「はあ……ちゅつ、ちゅる……」

「はあ、ちゅぱ……」

「ちゅつ、んんつ、ふ……ちゅつ……▼」

● 左耳舐めループ

「はあ……どんどん、

大きくなつてるよ……？」

「もう……限界なの……？」

「ちゅつ、はあ……ふう———……」

「先生の吐息で、

蕩けちゃいそうなんだ……？」

「はあ……んんつ……いいよ、はあ……
先生に……おちんちんみるく、
びゅつびゅつってするの……
見せて……？」

● 左耳舐めループ

「はあ……だして、だして……？」

「先生に、見せて……？」

「は、あ……あつ……」

「ちゅつ、ちゅぱあ……」

「出ちやうの……？」

「いいよ……。元気に、びゅつて……」

「先生の手に、いっぱい、いっぱい、
掛けてね……？」

● 左耳舐めループ・短め

//左耳元で話します

「あつ……▼」

「あ……ああ……▼ わあ……▼
いーっぱい……出たね……▼」

//左側近くで小声で話します

★くちゅくちゅする音

「ほら……見て……先生の手……
おちんちんみるくで、
べたべたになつちやつたあ……▼」

「拭き取つちやうなんて、もつたいないよ」

//精液ついた指舐め

「ちゅ、ちゅぱあ……いただきます……
ちゅつ……ちゅう……」

「すつばく……美味しいよ……▼」

「あむ……ん……ちゅつ……ふう……
ちゅつ、はあ……」

「はあ……美味しく……

いただいちやつたあ……」

「ぐちそうさま……でした……▼」

「ふふ、ありがとうって言えたねえ。ちゃんと感謝できる子、先生だーいすき……▼」

「先生のほうこそ、ありがとうだよ。
こーんなに美味しいミルク……

飲ませてもらつちやつたんだもん……▼

■ トラック7 「先生のなかに入りたい？」

//左側近くで小声で話します
「こんなにいっぱい出したのに……
見て……？」

「まだ、こーんなに、大きいままだよ……？」

「どうするの……?
もう……おしまいする……？」

「おちんちん、まだ……
元氣いっぱいだね……?
元氣なのは、すっごくいいことだよ。
先生も……大好きだな～」

「きみが、元氣ですっごく可愛いから……」

★スカートめぐり

正面近くに移動しながら小声で話します
「見て……？ 先生のここも……
おもらししたみたいに
なつちやつた……▼」

「ほら、ちゃんと、触つてみて？」

「……あ……熱いでしょ……?
あ、あつ……

きみが可愛くて、
きみのおちんちん見てたら、
先生、こうなつちやつた……▼」

//正面近くで小声で話します

「あ……あつ、んん……」

「、きみの指……感じすぎちゃう……」

「ね……直接……見て……？」

★パンツ脱ぎ

「ほら……見て……？」

えっちな匂いしてきちゃつた……」

「あつ……▼

そう、そうだよ……

とろとろ、溢れて来ちゃう……▼」

「女の子のこ」……見るの、初めてかな？」

//無声で囁き

「女の子の、ここは……」

大好きな人を、受け止めるために、
あるんだよ……？」

「どうしたいか……言って……？」

「うん……ん……

先生の、「こ」に……入りたいの……？」

「先生のとろとろおまんこの中に入つて……
一緒に……気持ちよくなりたいの……？」

「先生も……そうしたかつたから……

嬉しいな……▼」

//右側耳元に移動しながら囁きます

「じゃあ……▼」

//対面座位、抱きしめ

★態勢を変える布音

//右側耳元で無声で囁きます

「ふふ……」

//正面間近に移動して話します

「そういえば私たち、

まだ……キスもしてなかつたね」

「待つて……？」

キスもいっぱいしたいけど……

もう、我慢できないから……」

「だから……おちんちんとおまんこ、
ぎゅうぎゅーって抱きしめ合つてから、
いーっぱい、キス……しようね？」

★くちゅ音少し

「ん……んんつ……▼

はあ、あつ……はああつ……▼」

★挿入

「んつ、んんつ……！

あ、う……ん、あ、んんつ……！」

★以降、適度に粘着音を背景に

「はああ……あ……

入つちやつた……はあ……」

//正面間近で小声で話します

「はあ……気持ち、よすぎちゃう……？」

「あつたかい……？」

「きみ、すつづく可愛い顔してるよ……？」

「はあ……私も……あつ、ああつ……」

「こんな……はああ……、初めて……▼」

「はああ……お腹が、おちんちんで、

「いつぱいに、なつて……」

「はあ、んつ……んんんつ……」

「はあ、先生、気持ちいいことしか、
考えられなくなっちゃう……▼」

「ぎゅつて……ぎゅつて、しょ……？」

//左側耳元で無声で囁きます

「はあ……あ……好き……好き……、

「大好きだよ……▼」

//正面間近で小声で話します

「ちゅ……しょ……？」

「いっぱい、いーっぱい……▼」

「ちゅつ……んふ、はあ……」

「ちゅ、ちゅば……ちゅつ、ちゅる……」

「ちゅつ、あ、あつ……▼」

● ディープキス+喘ぎ

「あ、ああっ……キス、するたびに……
とろけちゃう……▼」

//正面間近で小声で話します

「先生のおまんこ……」

どんどん気持ちよくなつて、
きみのおちんちん、
ぎゅつきゅつて抱きしめてる……▼

● ディープキス+喘ぎ

「ひゃんつ……はあ……」

気持ちよくて、動きたいの……？

いいよ……？」

「先生のおまんこ、いっぱいいっぱい、
ぐちゅぐちゅにして……？」

★(一)の個所粘着強めに

「あ、あつ、あつ……！」

おちんちん、擦れてる……？」

「気持ち、いい……、

あ、あつ、あ、ああつ▼」

「はあ、あ、もつと、あ、あつ、
いっぱい、かき回して……？」

● 喘ぎ・中

//右耳元に移動して小声で話します

「ひや、ああんつ、はあ、あつ……」

「も、だめ、こんなのが、だめに、
なつちやうつ……」

//右耳元で小声で話します

「止めないで、あ、あつ、ああつ▼

気持ち、いいの……！」

ずっと、してたいつ……▼」

「は、はあ……

ん、はあ、んつ、あつ、ああつ……▼」

「きみの蕩けてる顔……可愛いよ……？

もっと、もっと、もーつと……？」

//正面間近に移動して小声で話します

「先生で……はあ……

気持ちよく、なつて……」「…

「もつともつと、

先生から、離れられなくなつて……？」

● 喘ぎ・中

「ああああ、すごい、んんつ、
あ、あつ、あ、ああつ、
こんな、は、はあつ、あ、あつ、
初めて……」

「ね、はあ、あつ、先生の、おまんこ、
どう、ですかあ？」

「はあつ、うん、
ぎゅーつて、吸い付いてくる?
気持ち、いい？」

//正面間近で話します

「あ、あつ、それは、ね、
先生が、きみのこと、
だい、だい、大好き、
だから、だよ……？ はあ……あ……」

「あ、あつ、またあ、

先生の、膣内（なか）で、おちんちん、
おつきく、なつたあ▼」

「なでなで……▼

先生の膣内（なか）で
こーんなに大きくしてくれて……
ありがとう……」

★粘着だんだん激しく
「ひや、あ、あつ……▼

はげし……つ、我慢、
できなくなつちやつたんだ……
あ、あつ▼」

「いいよお……

先生に、我慢しなくていいんだから、
もつと、もつと、してえ……？」

● 喘ぎ・中

「あ。ああああああ、あつ、あああつ！」

//右耳元・必死で囁き・喘ぎながら
「好き、好き、好き、好きつ……！」

//右耳元・必死で囁き・喘ぎながら
「は、あああ、大好き、大好き、大好き、
あ、あつ▼」

//正面間近戻り

「はあ▼ あ、あつ▼
あ、だめ、あつ、ああつ▼
も、もうつ、あ、あつ、んんつ▼」

「はあ、あつ、こんな、こんなの、
初めて、あ、あつ」

「いつもは、可愛い、

甘えんぼさん、なのにつ▼

は、あ、ああつ、

今は、すつごく、かつこいいつ、
かつこいいよつ」

★粘着かなり激しく

//ここから絶頂に向けて喘ぎ強めで

「やつ、あ、ああつ▼

はげし、あ、あつ、ああんつ▼

も、もうつ、あ、あつ、

だめ、だめえつ▼」

「はあ、あ、ああつ、

んく、ん、んんつ、う、あ……！」

あああああ、も、もうつ、あ、あつ、
いつちや、う、あ、ああつ」

「ああああ、も、もうつ、あ、あつ、
だめ、あ、あつ、ああつ」

「いつちや、う、うつ、

あ、あなたの、あ、あつ、
おちんちん、で、あ、あつ、
イカされ、ちや、うつ」

//正面間近で話します

「はあつ、あ、あつ……

イキそ、なの……つ？ あ、あつ▼
一緒、いっしょ、につ、
ああつ、はあ、あつ▼」

「先生の、膣内（なか）、

びゅつびゅつ、してつ、あつ、ああつ▼
おちんちんみるく、はあ、あつ、
いっぱい、注いでつ……！」

「あ、ああつ、あああつ、

あつ、あああああつ！」

「先生の、おまんこ、はあつ、あ、
いっぱいに、いっぱいに、してえつ！」

//絶頂、長めに

「ひう、あ、あつ……！

ああああああつつつつつつつつつ

くく！……！」

//射精

「は……はうう……

あ、はあ……あ……はああ……」

「いーつぱい、出てるね……▼

感じる……▼

先生……全部受け止めたよ……」

//見つめ合いで少し会話しながらいや
いやしてる感じ

「はあ……あ……ふふつ……ん、うん……

汗……かいちゃつた……▼

うん、ん……」

「汗のにおいと……えつちな、匂いだね……。

ふふつ、そうだね……

部屋に、残つちゃうかな……？」

右耳元に移動しながら小声で話します

「はあ……あ……

ビクビク、止まつちゃつたあ……。

ん……頑張ったね……

気持ちよかつたよ……▼

「んふ……、ありがとう……▼

もーつと、繋がつていたいなあ……▼」

「んふ……、ちらこそだよお……?

ふふ、大好き……」

「……ずつと一緒だよ……?

これからは恋人同士としても
ずっと……よろしくね」

■ トラック8 「エピローグ・これからもずっと先生と……」

//正面近くで話します

「お疲れ様、今日も時間通り来ててくれたね」

「先生に会いたくて、甘えたくて……
今日も、来てくれたのかな？」

「左耳元に移動しながら無声で囁きます

「先生に会いたくて、甘えたくて……
今日も、来てくれたのかな？」

//左耳元小声で

★抱きしめる布音

「ん、ふあ……も、もうう……だーめ……
ちゃんと、ボランティア終わって
帰つてきたら……」

//無声で囁き

「頑張ったご褒美に、いっぱいなでなでして、
仲良ししてあげるから……▼」

//小声で

「あ、あつ、も、もう、だーめ、
我慢、できないの……？」

//正面間近へ移動しながら話します

「じゃあ……」

「ちゅつ……ん、んむ、ちゅ、ちゅぱあ……
ちゅつ……▼」

「はい、ここまで……▼

「続きは、戻つてきてからだよ？」

//正面間近で話します

「んつ、きやあんつ、も、もうつ、もつと、我慢できなくなつちやつたの……？」

//右耳元無声で囁きます

「だーめ……▼

きみのおちんちんみるくで
先生のおまんこ ぱんぱんにして
行つちやつたら……」

//無声で囁き

「だらだらつて溢れて来ちやつて……
大変なことに、なつちやうでしょ……？」

//小声で

「だからあ……ちやーんと、
帰つてきてから……」褒美、だよ……？」

//正面近くへ移動しながら話します

「……ね？ いい子だから、頑張れるよね？」

「……頑張れるよね？ ねー？」

「……うん、いいお返事です♪」

「じゃあ……今日もボランティア、
頑張ろうね」

//小声で

「私の可愛い……

あ・ま・え・ん・ぼ……さん……♪」

//小声で

「……だーいすき……▼」

■BGV—

BGV

テキストは目安で自由にやつていただき
て大丈夫です。

少し長めに収録お願いします。

//なでなで中

「（テキストなし・自然に呼吸お願いします）

」

//ぎゅつてしている間中の右耳元呼吸音

「（テキストなし・自然に呼吸お願いします）

」

//右耳元上方吐息の間

「（テキストなし・自然に呼吸お願いします）

」

//耳かき中・右耳・呼吸

「（テキストなし・自然に呼吸お願いします）

」

//耳かき中・左耳・呼吸

「（テキストなし・自然に呼吸お願いします）

」

//耳舐め・右

「ちゅつ……ちゅる、ちゅ、ちゅぱあ……ふ
う、ちゅつ、んんつ、ちゅ、じゅる、ちゅ、
はあ、ちゅつ、んふ、ちゅ、ちゅぱあ……」

//耳舐め・左

「ちゅつ……じゅる、んむ、ちゅる、ちゅ、
ちゅぱあ……ちゅ、じゅる、じゅるる……
ふはあ……ちゅぱ、ちゅつ、ん、ふ、ちゅ、
ちゅう……」

//ディープキス・喘ぎ・正面

「//繋がりながらのキスなので、感じながらお願いします。

「ちゅつ、ちゅ……ふあ……あ……ちゅつ、
ちゅぱあ……ん、ああ、あつ、あつ……ち
ゅつ、んう、ちゅるつ、う、あ、ああつ、
はあつ、んんつ、ちゅつ、ちゅるう、ちゅ
つ……」

//喘ぎ・小（正面）

「あ、はあ……あつ、あ、あつ……んんつ：
…ふ……はあ……あ、あつ……ん、んんつ
…ふ、あ、ああ、あ、あつ……▼」

//喘ぎ・中（正面と右耳よりなど別であるといいかもです）

「あ、ああああつ、あ、はあつ、んつ、う、
んんつ……▼はあつ、あ、あつ……んん
つ、う、ふ、ふあ……ああつ、あつ、んん
つ、はあつ、あつ、あつ……▼」

//喘ぎ・強・絶頂前の激しい感じ

「あつ、ああつ、あ、あつ、う、あ、はあつ、
ああつ、はあつ、う、うあ、あつ、ああ
つ！ はあつ、ああつ、んんつ、あつ、
んふ、ふあ、あつ、あつ、ああつ！」